
俺とアイツ。

三森咲月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺とアイツ。

【Nコード】

N1283E

【作者名】

三森咲月

【あらすじ】

いつになつてもあえない二人。彼らに明るい未来はやってくるのだろうか？^{コナン}新一視点で見た、切なさいっぱいの短いラブストーリーです。

待ち続ける、って本当に大変だと思う。

ただ一目見て安心したいだけなのにそれもできず。
もちろんそばにいることもままならず。

好きな人と一緒にいることは、いけないことなのか。
なぜ神様は俺たちを引き離したのだろう。

どうして引き離した？
なぜ、どうして……？

ああ、もう。

考え出したらきりが無い。
俺は一回思考を止めた。

だが、頭に浮かぶのはそのことばかり。
毎日、毎日考える。

頭で考えるだけじゃダメなんだ。
いくら頭がよくたって、何にも解決しない。

この事件は神様の意地悪？

……いや。

神様なんて、俺は絶対に信じない。

……うん。

ってことは。

「俺は、アイツの隣にいる資格がねえってことなのか？」

自分自身が導き出した答えに、俺は勝手にへこむ。

俺はアイツのそばにいたい。

今も、そして明日も。

一生彼女のそばに。

そんなささやかな願いさえ、彼らには通じないのだろうか。
ただそれだけ。

本当にそれだけなのに。

アイツのぬくもりを、ただそばで感じていたい。
肌で、頭で、身体で感じていたい。

そんな俺たちに明るい未来はやってくる？

・・・でも。

もしかしたら。

「・・・ま、いつか」

今そばにいられれば。

これからまた、新しい未来が始まる。
その時に俺らの「運命」ってヤツを変えればいい。

まだまだ時間はたっぷりある。

もしかしたら、捻じ曲げることができるともかもしれない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1283e/>

俺とアイツ。

2010年11月17日15時49分発行